

【第5回 BUG Art Award 開催】応募要項を公開。制作活動年数10年以下のアーティストを対象に、2027年1月20日より応募受付開始。

第5回 BUG Art Award

■応募受付期間

2027年1月20日(水)10:00 ～ 2月17日(水)17:00

株式会社リクルートホールディングスが運営するBUGでは、第5回BUG Art Awardの応募受付を2027年1月20日(水)10時より開始します。

BUG Art Awardは制作活動年数10年以下のアーティストに向けたアワードです。審査員からのフィードバックの提供をはじめ、展示/設営に関するレクチャー、他アーティストとの協働など多数の機会を設け、新しい表現に挑戦したい、アーティストとしてキャリアを築きたいという想いを応援します。

前回(第4回)は33都道府県から441件の応募がありました。居住地に限らず機会をひろくことを重視し、1都3県以外に在住の方には審査に伴う交通費を支給しています。

The logo for the BUG Art Award, featuring the words "BUG", "ART", and "AWARD" stacked vertically in a bold, sans-serif font. The "BUG" is slightly larger and more prominent than the other two words.

第4回ではパフォーマンス作品が初めてファイナリストに選出されたほか、彫刻、映像、インスタレーション、ドローイングなど、多様な表現に取り組む6名が選出されました。現在BUGでは、6名による「第4回BUG Art Award ファイナリスト展」を10月4日(日)まで開催しています。

<https://bug.art/exhibition/bug-art-award-4/>

また、BUG Art Awardでは審査観点の固定化を避けるため、審査員の任期は3回を上限としています。第5回より、新たに本橋仁氏(建築史家、キュレーター)を審査員に迎えます。第4回から審査員を務める沢山遼(美術批評家)、能勢陽子氏(東京オペラシティアートギャラリー シニアキュレーター)、百瀬文氏(美術家)、そして第1回・第2回で審査員を務めたたかくらかずき氏(アーティスト)を含む5名で審査を行います。

■第5回からの審査員ご紹介



・本橋仁(建築史家、キュレーター)

建築史家、キュレーター。博士(工学)。1986年、東京生まれ。金沢21世紀美術館キュレーター、奈良文化財研究所 客員研究員、総合地球環境学研究所 客員准教授。建築作品に「旧本庄商業銀行煉瓦倉庫」(福島加津也+富永祥子 建築設計事務所と協働、2017年改修)、編著に『クリティカル・ワード 現代建築』(フィルムアート、2022年)、『ホルツ・パウ 近代初期ドイツ木造建築』(TOTO出版、2022)、『4D 建築をわたる4つのディスカッション』(TOTO出版、2025)など。キュレーションした展覧会に「第14回ベネチアビエンナーレ日本館」(2014)、「分離派建築会100年 建築は芸術か?」(2020)、「路上、お邪魔ですか?」(金沢21世紀美術館、松濤美術館、2026)など。受賞歴に、ユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞功労賞(2018)、日本建築学会作品選奨(2019)、日本建築学会賞(業績、2023)、日本建築学会著作賞(2024)。

<審査員コメント>

かれこれ数年、AIが生み出すデータが氾濫していますが、結局のところそのデータを形にするには、ヴァーチャルな体験にしる、フィジカルな展示にしる、三次元で構成された空間からは逃れようもなさそうです。BUG Art Awardは、さいごには展示計画まで求められます。そこにこそ、わたしの専門である建築という強みが生きてきそうです。正直いえば、現代美術はそこまで詳しくありません。ただ私は空間が作品の質を決める、とずっと考え、そして展示を作ってきました。みなさんと一緒に空間を作ることを楽しみにしています。

■審査員 五十音順・敬称略

沢山遼 | 美術批評家

たかくらかずき | アーティスト

能勢陽子 | 東京オペラシティアートギャラリーシニアキュレーター

本橋仁 | 建築史家、キュレーター

百瀬文 | 美術家

■出品料：無料

■選出後の機会：

[ファイナリスト]

・ファイナリスト展への参加

・作品制作費20万円の支給

※20万円を上回る制作費は、応募者ご自身の負担となります。ただし、制作費を使い切った上で発生する輸送費はBUGで負担します。

※東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県以外に在住の方には、日本国内移動分の往復交通費（公共交通機関の普通運賃）を別途お支払いたします。（会場での各種打ち合わせ、ファイナリスト展設営、公開最終審査、ファイナリスト展撤去および事務局が要請したイベント登壇時。）

・広報（プレスリリース配信／広告出稿／チラシ・ポスターなどの告知物作成、大学や美術関係者などへの配布等）

※広報協力費5万円の支給

・展示や設営に関する相談会の実施

・カメラマンによる展示風景撮影（スチル、動画）

[グランプリ受賞者]

・グランプリ個展の開催

・個展開催費（作品制作費＋設営撤去費）300万円の支給

※東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県以外に在住の方には、日本国内移動分の往復交通費（公共交通機関の普通運賃）をお支払いたします。

・アーティストフィーの支払い

・広報（プレスリリース配信／広告出稿／チラシ・ポスターなどの告知物作成、大学や美術関係者などへの配布等）

・関連イベントの開催

・展示担当スタッフによる個展開催サポート（テーマ設定、展示プランの立案、展示図面の作成、その他アドバイス等）

・インストーラー（展示設営技術者）や展示担当スタッフによる個展の設営および撤去の協力

・カメラマンによる展示風景撮影（スチル、動画）

・展覧会レビュー提供

<応募概要>

詳細はBUGのウェブサイトより応募要項をご確認ください。

<https://bug.art/award/>

■第5回BUG Art Award 審査の流れ

※詳細はBUGのウェブサイトより応募要項をご確認ください。

応募受付

2027年1月20日(水)10:00～2月17日(水)17:00

オンラインより応募資料提出



一次審査

2027年4月18日(日)

応募資料の審査によりセミファイナリスト20名(組)を選出
二次審査前に展示図面／展示プラン詳細をご提出いただきます
(2027年5月5日(水)17:00〆切)。

二次審査

2027年5月23日(日)

審査員と一対一の対面審査によりファイナリスト6名(組)を選出



ファイナリスト展

2027年9月8日(水)～10月3日(日)

ファイナリスト6名(組)によるグループ展を開催
展示までに、ファイナリスト同士での打ち合わせや
設営に関する相談会を実施します。

公開最終審査

2027年9月28日(火)

ファイナリスト展期間中の公開最終審査にてグランプリ1名(組)を決定
ファイナリストが展示作品とグランプリ受賞時の個展プランについて
プレゼンテーションを行い、審査員の議論を経てグランプリを決定します。

グランプリ受賞者個展

2028年度中予定

■アワード概要

第5回 BUG Art Award

<応募受付>

2027年1月20日(水)10:00 ~ 2月17日(水)17:00

<応募要項>

<https://bug.art/award/>

<主催> BUG

BUG

〒100-6601 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー1F
Gran Tokyo SOUTH TOWER 1F, 1-9-2, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo

交通アクセス

JR東京駅八重洲南口直結
東京メトロ京橋駅8番出口から徒歩5分
東京メトロ銀座一丁目駅1番出口から徒歩7分

<施設情報>

- ・BUGはオフィスビル1階にあり、入口から段差なくアクセスできます。カフェの奥に広がる空間がBUGです。
- ・授乳室は設置していません。
- ・多目的トイレはビル内の同フロアに1つあります。(おむつ交換台、ベビーチェア、オスメイト設置)
- ・トイレは地下1階(八重洲地下街)に複数あります。エレベーターまたはエスカレーターが利用できます。
- ・BUGには専用駐車場はありません。ご来館には公共交通機関をご利用ください。

※BUGでは様々な事情を持つ皆様をお迎えできるよう、スタッフが可能な範囲でサポートや情報提供に努めています。

お問い合わせ先:株式会社リクルートホールディングス リクルートアートセンター 広報担当
Mail : info.bug@r.recruit.co.jp